

1. 科目名 (単位数)	経済学 (国際経済を含む) (2単位)		3. 科目番号	GELA2318
2. 授業担当教員	谷口 彰一			
4. 授業形態	講義、学生による発表	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>本科目は、経済が動く仕組みがよく理解できるように、必要とされる経済学 (国際経済を含む) の基礎知識を体系的に得ることを目的のひとつとする。</p> <p>さらに、そうした基礎知識を「生きた知識」として活用させ、世界や日本国内で起こっている各種の経済問題やそこで活躍する企業や政府などについて理解することによって、分析するツールとして利用できるようになることが最終的な目的となる。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済現象の背後に貫徹する法則を説明できるようになる。</li> <li>2. 財政金融関係の基礎知識について学び、説明できるようになる。</li> <li>3. 国際経済・日本経済の歴史について、自らの意見をレポートにまとめ発表することができるようになる。</li> </ol>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	小テストはそれまでに学んだ知識について、言葉とその意味をどれだけ理解しているかという観点から出題します。			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】井堀利宏『コンパクト経済学 (第2版)』新世社、2017年。</p> <p>【参考書】伊藤元重『入門経済学 (第4版)』日本評論社、2015年。  古澤泰治、塩路悦郎著『ベーシック経済学-次につながる基礎固め』有斐閣アルマ、2012年。  西村和雄、八木尚志著『経済学ベーシックゼミナール』実務教育出版、2008年。等</p> <p>その他、経済学の入門書でしたらどのテキストでも問題ありません、自分に合う参考書を選んでください。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済現象や財政金融関係の基礎知識、企業経済・労働経済について学び、説明できるようになる。</li> <li>・世界経済や日本経済の歴史や現状について、自らの考えをレポート等にまとめ発表できるようになる。</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <p>授業態度および積極的参加度 (授業への取り組み・発言) 等 20%</p> <p>小テスト・発表 30%</p> <p>期末試験・レポート 50%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	経済学の基礎知識を教科書から学ぶ方法として、受講生には個人又はグループ単位で教科書の担当部分をまとめて、授業中に発表することを求めるので、その準備が必要となります。また、授業参加のためには発表者以外の者についてもテキストを予め熟読しておくことが求められます。受講生の高い問題意識と、積極的な参加を期待しています。			
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	イントロダクション 経済学とは (第1章)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。	
		事後学習	何のために経済学を学ぶのかを考えておくこと。	
第2回	第2章 消費者の行動 ・消費と効用 (pp. 22~28) ・所得効果 (pp. 28~34)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。	
		事後学習	効用の概念について理解しておくこと。	
第3回	第3章 企業の行動 ・価格弾力性・労働供給の決定 (pp. 34~39) ・企業と生産行動 (pp. 42~48)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。	
		事後学習	企業の役割について理解しておくこと。	
第4回	第3章 企業の行動 (続き) ・完全競争企業 (pp. 48~51) ・独占企業 (pp. 52~57)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。	
		事後学習	企業の行動について理解しておくこと。	
第5回	第4章 市場のメカニズム ・完全競争 (pp. 60~64) ・完全競争市場のメリット (pp. 64~70)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。	
		事後学習	完全競争市場の条件について理解しておくこと。	
第6回	第4章 市場のメカニズム (続き) ・寡占とカルテル (pp. 70~76) 第5章 市場の問題 ・市場の失敗: 公害 (pp. 78~84)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。	
		事後学習	市場の外部効果について理解しておくこと。	
第7回	第5章 市場の問題 (続き) ・市場の失敗: 情報 (pp. 84~90) ・独占と公的規制の問題 (pp. 92~96, 91)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。	
		事後学習	独占の効果について理解しておくこと。	
第8回	第6章 政府 ・政府の役割・公共財 (pp. 98~106) ・税金・政府の選択 (pp. 106~113)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。	
		事後学習	公共財について理解しておくこと。	
第9回	中間まとめ 近年の経済ニュースについて	事前学習	配布資料を熟読しておくこと	
		事後学習	これまでの部分について復習しておくこと。	

第10回	第7章 金融 ・貨幣 (pp. 116~120) ・金融商品とその選択 (pp. 120~129)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。
		事後学習	貨幣の役割について理解しておくこと。
第11回	第8章 マクロ市場 ・GDP (pp. 132~138) ・IS-LMモデル① (pp. 138~142)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。
		事後学習	GDPに含まれるものについて理解しておくこと。
第12回	第8章 マクロ市場 (続き) ・IS-LMモデル② (pp. 142~148) 第9章 マクロ政策 ・財政政策 (pp. 152~158)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。
		事後学習	IS-LMモデルと経済政策の関連について理解しておくこと。
第13回	第9章 マクロ政策 (続き) ・財政赤字の問題 (pp. 158~165) ・金融政策 (pp. 166~172)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。
		事後学習	金融政策の手法について理解しておくこと。
第14回	第10章 国際経済 ・貿易 (pp. 178~184) ・国際収支と為替レート (pp. 184~191)	事前学習	テキストの該当部分について熟読しておくこと。
		事後学習	貿易のメリットについて理解しておくこと。
第15回	最終まとめ 近年の経済動向について	事前学習	配布資料を熟読しておくこと
		事後学習	これまでに学んだものを踏まえて、経済ニュースを読むこと。
期末試験			